

地域資源を活用したスポーツイベントによる地域活性化 in 白山市

団体名●地域スポーツマネジメント研究室／代表者名●西村貴之(人間科学部准教授)

はじめに

この取組みは、白山市と本学との包括連携協定にもとづき、人間科学部スポーツ学科地域スポーツマネジメント研究室に所属する学生が中心となり企画・運営を行ったものである。地域スポーツマネジメント研究室では“スポーツで人と地域を幸せにする”を理念に掲げ、行政、NPO 法人、地域スポーツクラブ、プロスポーツクラブ、企業、まちづくり団体などとの連携・協働プロジェクトを実施し、にぎわいの創出、課題解決といった地域活性化の担い手となる、「地域スポーツマネジメント人材」の育成をめざしている。

活動内容

(1)白山ジオフォトロゲイニング IN 松任2019

日時：2019年9月28日(土)

場所：白山市松任地区

内容：フォトロゲイニングとは、スタート前に配布される地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を競い合うスポーツである。各ポイントでは決められた風景を写真に撮ることで得点となる。この大会は白山ジオフォトロゲイニング実行委員会が主催し、白山市、白山手取川ジオパーク推進協議会が共催した。学生はスタッフとして大会全般の運営サポートや、表彰式前の空き時間を活用した抽選会企画について考案、実施した。



フォトロゲイニング①



フォトロゲイニング②

(2)白山レクリエーション

日時：2019年9月29日(日)

場所：白山瀬波川キャンプ場

参加：本学留学生および日本人学生 29名

本研究室所属スポーツ学科3、4年生 8名

内容：白山の自然資源にあふれた場所で身体を動かすことを通して、コミュニケーション機会を創出し、日本に来て間もない留学生と日本人学生との交流を促進するとともに、白山地域の魅力を伝えることを目的とし、地元ガイドの協力による集落内散策、川遊びや運動・レクリエーションを体験した。



白山レクリエーション①



白山レクリエーション②

成果、結果の考察

イベント開催に至る過程において、白山市行政のみならず、民間企業、地域団体など様々なステークホルダーに対する聞き取りやフィールドワークを学生達が主体的に実施し、地域の資源やニーズの把握を行った。その結果、イベントの実施を通じてさらなるネットワークの構築や継続的な連携依頼を得ており、活動に対して一定程度の評価が得られているものと考えている。

今後の課題、展望

2019年度後期開催予定で準備を進めていたイベント(白山瀬波かまくら祭り、白山スノーフェスタ)が雪不足のために中止となった。しかしながら、企画準備段階でも新たなネットワーク構築ができていく。次年度へのスムーズな移行を進め蓄積ノウハウを有効活用したい。